
みちしるべ

しゅーご

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】
みちしるべ

【Nコード】
N0609I

【作者名】
しゅーじ

【あらすじ】
ひきもりの女の子が現実から逃げるお話

目の前にある現実が怖くて
逃げ続けた

何処までも

逃げて、逃げて

誰も追いつかないほど逃げて

一人になった・・・

一人、取り残されて・・・
戻る道がわからなくなった

ここは、何処なんだろう？
足元だけ照らされて・・・
前も後ろも真っ暗な空間

怖くなった

一人ということが恐ろしい

でも、逃げ切れた・・・
安心した

でも、現実には、追いかけてきた

それでも、逃げた

目をつぶって

真っ暗な空間に飛び込んで逃げた

気がついたら・・・

私は、学校にも行かず

ひきこもりになっていた

こうなったら、逃げ続けよう

逃げれば、誰にも迷惑をかけない

そんな、自己満足

けど、君と出会えた

逃げ続ける私を追いかけて「前に進もう」って言うてくれた

一緒に、手をつなぎながら

少しだけ前に進んだ

今までの現実が襲ってきたけど

君が私に力をくれた・・・

周りは、私を見捨てた

けど、君は、見捨てず歩いてくれた

ありがとう・・・

けど、私、少し悪い子になります

私が、アナタの近くに居ればアナタ苦しめてしまう

さようなら、今まで楽しかったです

アナタと一緒に歩いた道

足跡を道しるべにします

さようなら

手は、アナタと手を繋いだように暖かい
けど、暖かさの代償に血が流れる
気が遠くなる

次に生まれ変わった時に、まだ道しるべがあるなら
そこを歩いていこう
アナタにあえるように

気がつくと・・・
私の手を握った君が居た

笑顔で「ちよつと前に進むのは、早すぎたな。ごめんなお前の気持ちを考えずに」と言ってくる君

違うよ
違う・・・

私は、口を開いて涙を流しながら「気持ちを考えていないのは、私だったよ・・・ごめんね、本当にごめん」

私は、アナタという人が居ながらも
怖くて逃げた・・・
アナタがどこかにいつてしまっんじゃないかって
それが、怖くて逃げた

けど、君は、ちゃんと
追いかけてくれたんだね・・・

私とアナタが作った
人生の道のみちしるべ
足跡だから消えそうで、頼りないけど
出口には続いている

私は、少し顔をあかくしてこう呟く「私達の作った道しるべは、私達の子も達が使うんだよね」

そして、10年後

私達は、結婚して
幸せを手に入れた

子供を授かった幸せ

生まれてきたばかりの子に私達はこういう

「アナタが歩く道、迷った時、足元を見て、みちしるべがきつと在るから」と

（後書き）

つてことで、初めての投稿ですが下手ですね
とりあえず、これからどんどん書くのでよろしく願います

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連「横書き」という考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n0609i/>

みちしるべ

2010年11月11日19時58分発行